

# 小施策評価シート (平成 28 年度実績評価)

施策コード	8	施策名	安全・安心な暮らしの確保	
小施策コード	8-5	小施策名	防犯対策の推進	
小施策 主管課等コード	047200	小施策 主管課等名	くらしの安全課	
評価責任者名	割船 活彦		内線番号	2680
評価シート作成者名	晴山 満		内線番号	2681

## Step 1 施策目標の達成状況

まちづくり指標	目指す 方向	単位	25年度 実績 (当初値)	27年度 実績	28年度 実績	31年度 目標値	36年度 目標値
まちづくり評価アンケート調査「避難場所を知っている」と答えた市民の割合	↑	%	69.0	72.7	76.2	75.0	80.0
まちづくり評価アンケート調査「防災対策をしている」と答えた市民の割合	↑	%	60.7	57.9	62.1	70.0	80.0
人口1万人当たりの火災発生件数	→	件	1.7	1.6	1.5	1.7	1.7
人口1万人当たりの刑法犯発生件数	→	件	68.4	57.6	51.2	68.4	68.4
不適正な管理状態にある空き家等の相談件数	↑	件	60	178	139	85	85
消費生活相談の解決率（解決した件数／消費生活相談件数）	↑	%	98.5	98.8	98.9	99.0	99.0

(↑：数値を上げていくことを目標とする指標， ↓：数値を下げていくことを目標とする指標， →：数値を維持することを目標とする指標)

## Step 2 小施策の全体像

### 小施策の概要等（構成事業は別紙ロジックモデルシートのとおり）

対象（誰（何）を対象として行うのか）	意図（対象をどのようにしたいのか）
市民	犯罪の被害者とならないようにする。
現状と課題	市の刑法犯認知件数は、13年以降、減少傾向が続いているが、子どもへの声かけなどの不審者情報が後を絶たない状況にある。犯罪の被害に遭わないよう、安全で住みよいまちづくりを進めるためには、「地域の安全は地域で守る」という観点から、地域ぐるみでの取組が推進されるよう支援していく必要がある。
取組の方向性	市民が犯罪の被害を受けることがなく安全に安心して暮らせるように、防犯協会や警察、町内会など、関係機関が一体となった防犯活動を推進する。

## Step 3 小施策指標の推移

小施策の指標	目指す方向	単位	25年度実績 (当初値)	27年度実績	28年度実績	31年度目標値	36年度目標値
人口1万人当たりの刑法犯発生件数	→	件	68.4	57.6	51.2	68.4	68.4

（↑：数値を上げていくことを目標とする指標， ↓：数値を下げていくことを目標とする指標， →：数値を維持することを目標とする指標）

## Step 4 市民ニーズの把握

まちづくり懇談会要望において、町内会等から防犯カメラの設置等に関する意見等が出ており、対応を検討する必要性が生じている。

## Step 5 役割分担分析

### 1 各主体の役割の状況

		役割の内容	役割分担比率 (%)
各主体の 役割の状況	市	市民への啓発活動のほか、盛岡市防犯協会に対する補助事業や警察等関係機関と連携して施策を展開している。	40
	国・県・ 他自治体	市町村への情報提供や全県的な取り組みに中心的な役割を担っている。	30
	市民・ NPO	地域の防犯に日常的に取り組む主体としての役割を担っている。	30
	企業・ その他		

### 2 今後の市の役割の比重の方向性とその理由

- 市の役割の比重を拡大していくことを検討する
- 現状維持（現在の市の役割の比重を維持する）
- 市の役割の比重を縮小していくことを検討する

（理由）

犯罪は全ての市民が様々な場面で巻き込まれる可能性があることから、犯罪の被害者とならないためには、行政、関係団体、町内会・自治会及び市民一人ひとりが主体的にかつ継続的に取り組む必要がある。

## Step 6 前年度に分析した課題・改革改善案に対するアクション

### 1 平成28年度に分析した問題点・課題に対する改革改善案

- ・ 自治体等が行う子どもの見守り活動支援のための防犯用品支給事業の拡大
- ・ 特殊詐欺をテーマにした防犯講習会の開催や警察等関係機関と連携した啓発活動の強化

### 2 1の改革改善案の実施状況

（A：着手済、B：平成29年度に着手（予定含む）、C：未着手または見送り）

改革改善案	具体的な取組（予定）内容	状況
子ども見守り活動への支援強化	見守り活動支援のための防犯用品を支給した。	A
特殊詐欺に関する啓発事業の展開	広報車により特殊詐欺に遭わないための広報啓発活動を実施した。	A
防犯研修会の実施	防犯ボランティアリーダー等研修会を実施した。	A

### 3 2で挙げた取組状況がCの場合、その原因

## Step7 成果・問題点の把握

### 1 成果の把握と要因分析及び課題の設定

#### (1) 小施策の中で成果をあげた点

刑法犯認知件数は減少傾向にある。

#### (2) 成果をあげた要因

- ・ 防犯ボランティア団体へのパトロール用品の支給
- ・ 防犯研修会の実施
- ・ 盛岡市防犯協会事業に対する支援

#### (3) さらなる成果向上に向けた課題（課題がある場合に記載）

- ・ 子ども見守り活動への支援を強化する。
- ・ 還付金詐欺等特殊詐欺に対する警察等関係機関と連携した啓発活動を強化する。

### 2 問題点の把握と原因分析及び課題の設定

#### (1) 小施策における現状の問題点

- ・ 子どもに対する声かけ事案が後を絶たない状況にある。
- ・ 還付金詐欺等の特殊詐欺が多発している。

#### (2) 現状の問題点が生じている原因

犯罪に巻き込まれないための啓発活動の効果が、高齢者等に必ずしも十分に及んでいない。

#### (3) 分析した原因の解決に向けた課題

- ・ 子ども見守り活動への支援強化
- ・ 特殊詐欺に関する啓発事業の積極的展開

## Step8 小施策と構成事業の関係性

### 1 小施策との結び付きが弱い、もしくは他の事業と重複していると考えられる事業

該当事業なし。

### 2 1で記載した事業についてその理由

### 3 1で記載した事業の今後の方向性（案）（縮小・廃止・統廃合等）

## Step9 Step7, 8を踏まえた改革改善案

- ・ 必要と思われる防犯パトロール用品のアンケートの実施
- ・ 警察等関係機関と連携した啓発活動の強化